

研修会報告

令和3年3月5日

文責：佐藤 貴光

研修会テーマ「切っても切れない生理検査と感染対策～他施設の現状を知る～」

開催日時 令和3年2月28日（日）14:00～16:00

会場 Web開催

司会 佐藤 貴光

生涯教育点数 専門20点

参加者 会員参加者68名 入会申請中会員0名 非会員0名 賛助会員0名 学生0名

合計68名

座長：仙台市立病院 佐藤 貴光
仙台厚生病院 石田 啓介

講演1「呼吸機能検査と感染対策」

講師：東北大学病院 生理検査センター 情野 千文 技師

講演2「心電図検査と感染対策」

講師：大崎市民病院 臨床検査部 伊東 雄大 技師

講演3「脳波検査と感染対策」

講師：仙台市立病院 臨床検査科 金野 美樹 技師

講演4「超音波検査と感染対策」

講師：石巻赤十字病院 検査部 生理検査課 伊藤 光汰 技師

17:00 終了

内容

宮臨技では昨年4月に「生理検査における新型コロナウイルス感染症対策の現状調査」を行ったが、やはり多くの施設で疑問や課題を抱えていることが見受けられた。これらの結果を踏まえ、今回は各検査の感染対策を具体的に学ぶ研修会を企画した。

いずれの講演においても、受付や待合での工夫、防護具などの検査を行う上での注意点、検査後の機器の消毒についてなど、感染対策の現状を詳細に解説していただいた。それぞれルーチンの流れに沿ってポイントを紹介していただき、実践的で大変有意義な内容であった。

多くの会員に参加いただき、生理検査における感染対策についての関心の高さがうかがわれた。各施設の工夫や課題を共有することで、今後のより一層の感染対策強化、個々の意識向上の一助となったと考えられた。新型コロナウイルスに限らず、生理検査における感染対策は常に考慮されるべき問題である。県内の感染対策の水準を保つ意味でも、こういった研修会は来年度以降も継続的に開催していきたい。